

エツタ



笑福亭 たま

菅首相の著書で「政府があらゆる記録を克明に残すのは当然」などの部分が改訂後、削除された。当然、「その記録を削除するのか？」と多くの方がツッコんだ。最近、政治のニュースを見るときれいにツッコめるのに、笑えないことが多い。

今回の著書の削除についても森友加計問題からの「公文書改竄事件」とも関わり、政府の公文書軽視が指摘されている「前提」があるだけに笑えない。河野大臣がツイッターで一般人をブロックするのは有名だが、「そんなん言ったら河野大臣にブロックされるで」というツッコミも、笑えない。麻生副総理の以前

■ この頃の政治家 ■

からの問題発言も大概このパターンだ。紛争地域を引き合いに出して「政治に関心なくとも生きていられるところ（日本）にいる方がよっぽどいい」とか、憲法改正でも「(ナチスの) 手口に学んだらどうか」とか、そんなアホな！とツッコめるけど笑えない。

先日、春風亭柳昇師匠の生誕百年記念公演があった。柳昇師匠は戦争経験者で、生前「次、戦争したら勝つ！」とか、自衛隊で米国製の戦闘機を見て「大戦中にこれがあったら日本は勝てたのに」とおっしゃっていたそう。このエピソードを東京の寄席で聞いてめちゃくちゃ笑った。これは、「アメリカの戦闘機でアメリカとどうやって戦うねん

芸人なら笑えるのに…



文書削除のしくさをする筆者

るのは怖い。「現行制度で不満な人・弱者をつくらないシステムを考えるべき立場」という前提だから、政治家のツイッターブロックは笑えない。

！「まだ戦争する気か」といつきれいなツッコミができるだけでなく、そもそも「柳昇師匠は戦争を起こせる立場にない」という大前提があるから笑える。

しかし、国会議員の言動は別だ。国会議員は特定の利益誘導者ではなく、国民全体の奉仕者である。もちろん政治で国民全員から百点の満足はもらえないだろうが、できるだけ皆の不満をなくすように活動するのが政治家だと思う。それなのに「不満を述べ一般人の声」をブロックす

麻生副総理の一連の発言もそうだ。政治に無関心な国民が増えれば、国民の不利益になるのは当然なのに、「国民のために活動すべき立場」という前提だから笑えない。ナチスの手口の発言も麻生氏は「政治的権力者」という前提だから笑えない。

この頃、政治家を見て「この人ら寄席芸人やってたら笑えるのになあ」とよく思う。

(落語家「次回掲載は十一月二十六日」)